

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社ゼンショーホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 7550 URL <https://www.zensho.co.jp/>  
代表者（役職名）代表取締役会長兼社長兼CEO（氏名）小川 賢太郎  
問合せ先責任者（役職名）最高財務責任者執行役員グループ経理本部長（氏名）丹羽 清彦（TEL）03（6833）1600  
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月3日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	557,765	23.2	41,129	61.4	39,103	59.6	24,871	57.4
2024年3月期中間期	452,610	20.5	25,477	212.6	24,503	78.6	15,797	114.7

（注）包括利益 2025年3月期中間期 9,663百万円（△58.6%） 2024年3月期中間期 23,320百万円（25.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	153.57	—
2024年3月期中間期	104.18	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	761,197	219,007	28.7	1,199.57
2024年3月期	748,056	214,652	28.7	1,171.76

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 218,741百万円 2024年3月期 214,385百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年3月期	—	35.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,080,000	11.8	62,500	16.4	61,500	20.8	37,000	231.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	160,733,225株	2024年3月期	160,733,225株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	4,068,684株	2024年3月期	4,068,435株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	156,664,672株	2024年3月期中間期	151,553,137株

(注) 「株式給付信託(BBT)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社普通株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の4ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書 .....	7
中間連結包括利益計算書 .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(企業結合等関係) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日)の連結業績は、売上高5,577億65百万円(前年同期比23.2%増)、営業利益411億29百万円(同61.4%増)、経常利益391億3百万円(同59.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益248億71百万円(同57.4%増)となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、ウクライナ情勢の長期化などによる原材料・エネルギー価格の上昇を受け、不透明な状況が続きました。一方で、行動制限の撤廃による人流の回復・経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善に伴い、個人消費の持ち直しが前期から引き続き見られました。

当社グループにおいても、外食関連事業を中心にご家族やグループでのご利用が増えるなど、需要の高まりが見られました。

このような状況の中、各報告セグメントの既存店売上高前年比は、「グローバルすき家」で107.9%、「グローバルはま寿司」で116.8%、「グローバルファストフード」で108.2%、「レストラン」で111.5%、「小売」で98.4%となりました。

当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、543店舗出店、272店舗退店した結果、15,380店舗(F C 8, 287店舗含む)となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下の通りであります。なお、文中に記載している売上高は、外部顧客への売上高としております。

#### (グローバルすき家)

「グローバルすき家」の当中間連結会計期間の売上高は、1,459億45百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益は、134億22百万円(同32.5%増)となりました。

「すき家」は、日本国内と中国、東南アジア及び中南米に展開しており、ご家族やグループのお客様にもご利用いただけるよう、主力の牛丼を中心に安全で美味しい商品を手軽な価格で提供しております。

国内すき家では、「明太マヨチーズ牛丼」、「めかぶオクラ牛丼」、「月見すきやき牛丼」などを販売しました。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、34店舗出店、62店舗退店した結果、2,604店舗(国内1,954店舗、海外650店舗)となりました。

#### (グローバルはま寿司)

「グローバルはま寿司」の当中間連結会計期間の売上高は、1,171億19百万円(前年同期比24.8%増)、営業利益は、97億19百万円(同97.9%増)となりました。

「はま寿司」は、日本と中国などに展開しており、新鮮な海産物を使用した寿司に加え、麺類やデザート、ドリンクなどのサイドメニューも充実させており、お子様から大人まで楽しんでいただいております。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、35店舗出店した結果、702店舗(国内620店舗、海外82店舗)となりました。

#### (グローバルファストフード)

「グローバルファストフード」の当中間連結会計期間の売上高は、1,582億2百万円(前年同期比59.1%増)、営業利益は、145億47百万円(同185.6%増)となりました。

「なか卯」は、親子丼・京風うどんを中心に、専門店にも負けない商品を提供しております。また、国内ではハンバーガーチェーンの「ロッテリア」、とんかつ専門店の「かつ庵」、武蔵野うどんの「久兵衛屋」などを展開しているほか、海外で展開する寿司テイクアウトのAdvanced Fresh Concepts Corp.、Sushi Circle Gastronomie GmbH及びWonderfield Topco Limited、ハラル認証を取得したチキンライス専門店TCRS Restaurants Sdn. Bhd.などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、467店舗出店、202店舗退店した結果、10,737店舗(国内974店舗、海外9,763店舗、F C 8, 210店舗含む)となりました。

(レストラン)

「レストラン」の当中間連結会計期間の売上高は、764億87百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益は、54億94百万円(同68.2%増)となりました。

ファミリーレストランの「ココス」は、季節感を重視したフェアメニューの積極的な導入による商品の強化、専門店にも負けない本格的な味の追求、お客様が満足してお食事をしていただけるようサービス水準を高め、業績の向上に努めております。そのほかに、パスタ専門店の「ジョリーパスタ」、ハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」、厳選された牛肉を提供する焼肉チェーン店の「熟成焼肉いちばん」、本格イタリアンレストランの「オリーブの丘」、和食レストランの「華屋与兵衛」などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、4店舗出店、5店舗退店した結果、1,188店舗(国内1,187店舗、海外1店舗、FC77店舗含む)となりました。

(小売)

「小売」の当中間連結会計期間の売上高は、384億92百万円(前年同期比1.8%減)、営業損失は、7億87百万円(前年同期は営業損失7億98百万円)となりました。

北関東中心に展開しているスーパーマーケット「マルヤ」、「ジョイフーズ」などのほか、青果販売等を行っている㈱ユナイテッドベジーズなどが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、1店舗出店、3店舗退店した結果、130店舗となりました。

(本社・サポート)

「本社・サポート」の当中間連結会計期間の売上高は、24億11百万円(前年同期比13.4%増)、営業利益は、95百万円(同96.8%減)となりました。

食品の製造・加工を担う㈱GFF、物流機能を担う㈱グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する㈱グローバルテーブルサプライ等が当報告セグメントに含まれております。

(その他)

「その他」の当中間連結会計期間の売上高は、191億7百万円(前年同期比10.1%増)、営業損失は、13億84百万円(前年同期は営業損失76百万円)となりました。

家庭用冷凍食品等の企画・開発・販売の㈱トロナジャパン、醤油やドレッシングなどの製造・販売を担う㈱サンビシ、介護事業を運営する㈱輝、玄米・精米の販売を行っている㈱ゼンショーライス等が含まれております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は7,611億97百万円となり、前連結会計年度末から131億41百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の増加等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は5,421億90百万円となり、前連結会計年度末から87億86百万円増加いたしました。これは主に、有利子負債の増加等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は2,190億7百万円となり、前連結会計年度末から43億54百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前中間純利益及び減価償却費等の増加により、409億77百万円の資金の増加(前年同期は442億96百万円の資金の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、新規出店と改装に伴う有形固定資産の取得等により、303億18百万円の資金の減少(前年同期は814億47百万円の資金の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有利子負債の返済等により、166億28百万円の資金の減少(前年同期は253億40百万円の資金の増加)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から78億31百万円減の743億40百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日発表の2025年3月期業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	82,171	74,340
売掛金	46,727	47,817
有価証券	19,907	19,245
商品及び製品	5,113	4,880
仕掛品	2,731	3,961
原材料及び貯蔵品	41,058	51,712
その他	27,112	25,856
貸倒引当金	△365	△408
流動資産合計	224,457	227,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	253,223	263,441
減価償却累計額	△147,862	△151,398
建物及び構築物(純額)	105,360	112,042
機械装置及び運搬具	26,085	28,861
減価償却累計額	△14,146	△15,159
機械装置及び運搬具(純額)	11,939	13,701
その他	220,917	238,956
減価償却累計額	△106,204	△114,145
その他(純額)	114,713	124,810
有形固定資産合計	232,013	250,555
無形固定資産		
商標権	201,169	190,816
のれん	13,616	12,791
その他	5,493	5,768
無形固定資産合計	220,279	209,376
投資その他の資産		
投資有価証券	2,162	1,461
差入保証金	38,074	38,991
その他	30,323	32,790
貸倒引当金	△105	△62
投資その他の資産合計	70,453	73,181
固定資産合計	522,746	533,113
繰延資産	852	676
資産合計	748,056	761,197

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43,148	48,335
短期借入金	7,542	5,498
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	26,735	30,752
未払法人税等	14,966	12,817
契約負債	860	879
引当金	4,082	5,035
その他	73,368	78,832
流動負債合計	180,704	192,151
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	224,369	221,574
引当金	378	439
退職給付に係る負債	274	282
資産除去債務	6,814	6,824
その他	105,862	105,916
固定負債合計	352,699	350,038
負債合計	533,403	542,190
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	47,497	47,497
資本剰余金	74,112	74,112
利益剰余金	85,461	104,973
自己株式	△13,715	△13,718
株主資本合計	193,355	212,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	27
繰延ヘッジ損益	158	△4,617
為替換算調整勘定	20,845	10,466
その他の包括利益累計額合計	21,029	5,876
非支配株主持分	267	265
純資産合計	214,652	219,007
負債純資産合計	748,056	761,197

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	452,610	557,765
売上原価	206,312	249,672
売上総利益	246,297	308,093
販売費及び一般管理費	220,819	266,963
営業利益	25,477	41,129
営業外収益		
受取利息	353	1,025
受取配当金	1	2
為替差益	232	489
持分法による投資利益	6	9
その他	593	930
営業外収益合計	1,187	2,457
営業外費用		
支払利息	1,613	2,732
その他	548	1,751
営業外費用合計	2,161	4,483
経常利益	24,503	39,103
特別利益		
受取補償金	55	608
退職給付制度終了益	179	—
その他	79	255
特別利益合計	314	864
特別損失		
固定資産除却損	776	873
その他	458	1,701
特別損失合計	1,234	2,575
税金等調整前中間純利益	23,582	37,392
法人税、住民税及び事業税	8,948	12,806
法人税等調整額	△1,161	△290
法人税等合計	7,786	12,516
中間純利益	15,795	24,876
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△1	5
親会社株主に帰属する中間純利益	15,797	24,871

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	15,795	24,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	2
繰延ヘッジ損益	1,123	△4,776
退職給付に係る調整額	△58	—
為替換算調整勘定	6,345	△10,416
持分法適用会社に対する持分相当額	40	△22
その他の包括利益合計	7,524	△15,212
中間包括利益	23,320	9,663
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	23,315	9,664
非支配株主に係る中間包括利益	4	△0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	23,582	37,392
減価償却費	16,358	22,303
のれん償却額	878	760
賞与引当金の増減額(△は減少)	740	955
株式給付引当金の増減額(△は減少)	135	61
受取利息及び受取配当金	△355	△1,028
支払利息	1,613	2,732
売上債権の増減額(△は増加)	△3,151	△2,081
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,725	△11,267
仕入債務の増減額(△は減少)	4,003	5,865
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,749	△3,416
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,526	△220
その他の固定資産の増減額(△は増加)	1,053	1,028
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,517	2,334
その他の固定負債の増減額(△は減少)	350	△418
その他	11	1,598
小計	46,237	56,599
利息及び配当金の受取額	251	554
利息の支払額	△1,584	△2,688
法人税等の支払額	△607	△13,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,296	40,977
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△16,000
有価証券の売却による収入	—	16,000
有形固定資産の取得による支出	△18,523	△27,509
有形固定資産の売却による収入	12	219
無形固定資産の取得による支出	△952	△1,173
長期前払費用の取得による支出	△238	△368
投資有価証券の取得による支出	△467	△343
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△58,194	—
差入保証金の差入による支出	△979	△1,327
差入保証金の回収による収入	604	528
長期前払家賃の支出	△374	△268
その他	△2,333	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,447	△30,318

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,815	△3,137
長期借入れによる収入	107,383	38,253
長期借入金の返済による支出	△93,004	△37,598
リース債務の返済による支出	△6,040	△9,617
株式の発行による収入	29,318	—
自己株式の取得による支出	△6,796	△3
配当金の支払額	△1,831	△4,720
その他	126	195
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,340	△16,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,834	△2,450
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,975	△8,421
現金及び現金同等物の期首残高	64,690	82,171
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	494	589
現金及び現金同等物の中間期末残高	55,209	74,340

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間 連結 損益 計算書 計上額 (注)3
	グロー バル すき家	グロー バル はま寿司	グロー バル ファスト フード	レスト ラン	小売	本社・ サポート	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	131,731	93,832	99,458	68,917	39,191	2,125	435,256	17,354	452,610	—	452,610
セグメント間 の内部売上高 又は振替高 (注)4	140	0	9	77	239	172,538	173,006	5,599	178,606	△178,606	—
計	131,872	93,832	99,468	68,994	39,430	174,663	608,262	22,953	631,216	△178,606	452,610
セグメント利益 又は損失(△)	10,133	4,910	5,093	3,266	△798	2,967	25,572	△76	25,495	△17	25,477

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外販製造卸売事業、介護事業及び畜産水産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△17百万円は、主にセグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

5. 上記のセグメント情報は、「企業結合等関係」に記載した暫定的な会計処理の確定の内容を反映した後の金額としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「グローバルファストフード」において、(株)ロッテリア及びSushi CircleGastronomie GmbHを株式取得により子会社化したことに伴い、のれんがそれぞれ3,007百万円、565百万円増加しております。

なお、のれんの増加額は、「企業結合等関係」に記載した暫定的な会計処理の確定の内容を反映した後の金額としております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間 連結 損益 計算書 計上額 (注)3
	グロー バル すき家	グロー バル はま寿司	グロー バル ファスト フード	レスト ラン	小売	本社・ サポート	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	145,945	117,119	158,202	76,487	38,492	2,411	538,658	19,107	557,765	—	557,765
セグメント間 の内部売上高 又は振替高 (注)4	148	0	6	68	397	196,810	197,431	6,860	204,291	△204,291	—
計	146,093	117,119	158,209	76,555	38,889	199,221	736,089	25,967	762,056	△204,291	557,765
セグメント利益 又は損失(△)	13,422	9,719	14,547	5,494	△787	95	42,491	△1,384	41,106	22	41,129

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外販製造卸売事業、介護事業及び畜産水産事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額22百万円は、主にセグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
 4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

2023年5月23日(みなし取得日2023年6月30日)に行われたSushi Circle Gastronomie GmbHとの企業結合について、前中間連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度において会計処理を確定した結果、暫定的に算定されたのれんの金額6,922百万円は6,357百万円減少し、565百万円となっております。

また、2023年9月15日(みなし取得日2023年9月30日)に行われたSnowFox Topco Limited(現 Wonderfield Topco Limited)との企業結合について、前中間連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度において会計処理を確定した結果、暫定的に算定されたのれんの金額89,561百万円は全額減少しております。

これらの結果、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書において、販売費及び一般管理費は82百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前中間純利益、中間純利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は同額増加しております。